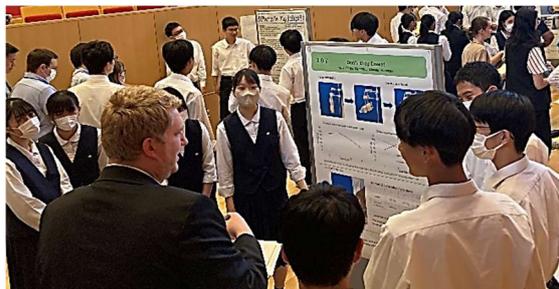


研究成果を英語で発表

3年理数科学科 S S 発展探究発表会

- ◇期 日 令和5年6月7日（水）5・6時間目
- ◇場 所 本校至誠ホール
- ◇参加者 3年理数科学科・人文社会科学科
生徒78名



2年次から行ってきたグループごとの課題研究の最後の行事であるS S 発展探究発表会が開かれた。私たちは、数学・物理・化学・生物の分野に分かれて、それぞれが興味・関心を持った事柄に関して調査や実験を行い、研究を進めてきた。2年次の12月に行われた三校合同課題研究発表会や1月のS S 発展探究課題研究発表会で用いたポスターをすべて英語に置き換え、研究内容も英語だけを用いて発表した。発表前にはそれぞれのグループが辿り着いた研究の結果を、どのように英語に直せば簡潔に表現できるのか、数々の専門用語をどんな英語で表現すれば誰に対しても分かりやすく伝えられるのかなど試行錯誤を繰り返し、生徒同士が議論を重ねる姿が見られた。校内外のA L TやC I Rの先生方から事前指導を受けたり、英語科の先生の指導の下で発表内容を推敲したりして、発表練習を行った。

当日は、同じ理数科学科の生徒だけでなく、人文社会科学科の生徒や本校の先生方にも来ていただいた。また、学校外からもA L TやC I Rの先生方を招き、発表を聞いてもらい評価して頂いた。生徒と先生方を交えた質疑応答もすべて英語で行われたが、どの生徒も恥ずかしがらず堂々と英語で発表し、自身の英語能力を発揮していた。笑顔で話す、大きな声で話す、アイコンタクトをとるなど、ボディランゲージ等も交えて、今までで最も効果的な発表をすることが出来た。

今回の発表から私たちが得たものは、単にチームワークの大切さや英語で話す貴重な経験だけではない。将来英語を使って意見を表明しなければならない場面でも、より自信が持てそうであるなど、未来を見据えた感想を口にする生徒もいた。何を学んだかは個人差があるだろうが、3年間の探究活動の集大成として、今回の発表会を楽しんだという点は皆共通していたようであった。

